

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



▲魚とり名人の児童たち

夏
の
自
然
を
楽
し
も
う
！

▼学社連携事業 夏休み子ども教室「自然教室」

7月27日、黒坂カワコ公園で黒坂小学校の「夏休み子ども教室」自然教室が開催されました。

はじめはおそろのおそろ入っていた低学年の児童たちも、次第に慣れ、大はしゃぎで水生の生き物を探していました。中には魚とりの名人もいて、「オヤニラミ」「カワヨシノボリ」「ドンコ」「タカハヤ」などの魚類をたくさん捕まえていました。



▲カワヨシノボリもいました

石の裏や下からは、「ヒゲナガカワトビケラの幼虫」「サナエトンボの仲間のヤゴ」「オニヤンマのヤゴ」など、普段あまり見ることのできない水生昆虫にも出会った。

夏の自然を満喫することができました。



▲自然教室「日野川観察会」

日野町の自然の歴史を体感

▼日野町新任教職員研修

8月2日、滝山公園や宝仏山周辺を会場に、令和4年度日野町新任教職員研修会が開催されました。

当日は、町公民館で「わたしたちのまち日野町【自然編】」をもとに事前学習を行い、その後滝山公園にでかけ、小さなトンボ王国、竜王滝、お勝ヶ池など、それぞれの環境に生息する生物の観察などを行いました。

その後、町歴史民俗資料館付近から続く宝仏山への登山道を登りながら、約2億年にわたる日野町の自然の歴史の素晴らしさを体感しました。厳しい暑さの中でしたが、この研修会が子どもたちをはじめくむための大きな糧になるとを期待しています。



▲シオカラトンボ



▲小さなトンボ王国のハッチョウトンボ



▲滝山公園の竜王滝

▲宝仏山の登山道

義務教育学校 だより



令和5年度の義務教育学校開校に向けて、校舎建設作業も本格的に進められています。また、各委員会でも開校に向けた準備を着々と進めています。

今回は、7月に完成した「日野学園校歌」を紹介します。作詞は、全国から多数応募いただいた作品の中から、愛知県岡崎市の石井昭吉さんの作品が採用されました。作曲は、全国の校歌や市町村校歌など、数多くの公的機関の作曲実績を持った作曲家、池田八声さんです。9月中には新制服も決定し、皆さんにお知らせする予定です。

これまでの各委員会の協議内容や要旨については、町ホームページ内でも紹介しています。

作詞・石井 昭吉
作曲・池田 八声
編曲・後藤 明

日野学園校歌

三、	二、	一、
未ふい友か夢	はたい自ま風	輝誠い向つ水
来るま愛かひ	ばくま主っひ	く実ま学っひ
をさ駆のるか	たま開のすか	仲に励のじか
築とけ虹る	けしく旗ぐる	間学意咲
くのる心	高くに	日び個欲日
日文誇結望は	く飛理想明木	野を性をもし
野化りびをか	日をのを杉	学ひろかめ
園をはな	野ひとかめ	園重磨えり
園繋胸こ空	園ろびかめ	園くて憩
ぎにぶに	園げらげざ	園すう

♩=105

— 日野町立日野学園 —

【学校教育目標】
ふるさとを愛し 心豊かに
たくましく羽ばたく 日野の子の育成

【めざす子ども像】
ふるさと日野町を誇り、地域とつながり、未来を創る子ども
夢や希望、目標に向かって、主体的に学ぶ子ども
・コミュニケーション力、豊かな人間性をもつ子ども
・心も体も健康で、たくましく生きる子ども

【校訓】 向学・友愛・誠実・自主

《校章》

中央には、ひらがなで「ひの」の文字をかたどる。「ひ」の文字は、未来に向かって羽ばたく翼をイメージ。周囲には真っすぐに伸びる「ほこ杉」を3つ描き、それぞれ「日野中っ子」「黒坂っ子」「根雨っ子」がすくすく伸びていく様子をイメージ。

日野町立日野学園